故障かなと思ったときは

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

スイッチを「入」にしても通電しない	差込みプラグをコンセントに差し込んでいますか。
湯が出ない	水容器に水が入っていますか。 水容器は正しくセットされていますか。
コーヒー豆が挽けない	スイッチが「切 ミル入」になっていますか。 ミルケース、ミルふたが正しくセットされていますか。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-de-shopping.com/

お客様ご相談センター ナビダイヤル 0570-011874 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Tel (06)6356-2451
- ファクシミリでのお問い合わせ・・・・・・ Fax (06)6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

保証書

コーヒーメーカー保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型 名	EC-VJ60	修理メモ
※お客様 お名前	☎	
ご住所 〒		
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所	
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	☎	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
   (ヘ) 本書のご提示がない場合。
   (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
   (チ) 消耗品などの交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06) 6356-2451

愛情点検 長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を!

こんな症状はありませんか

- ●ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- ●焦げくさいにおいがする
- ●製品の一部に割れ・がたつき・ゆるみがある
- ●その他の異常や故障がある

ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

EC-VJ60型 Ⓕ Ⓔ

ZOJIRUSHI

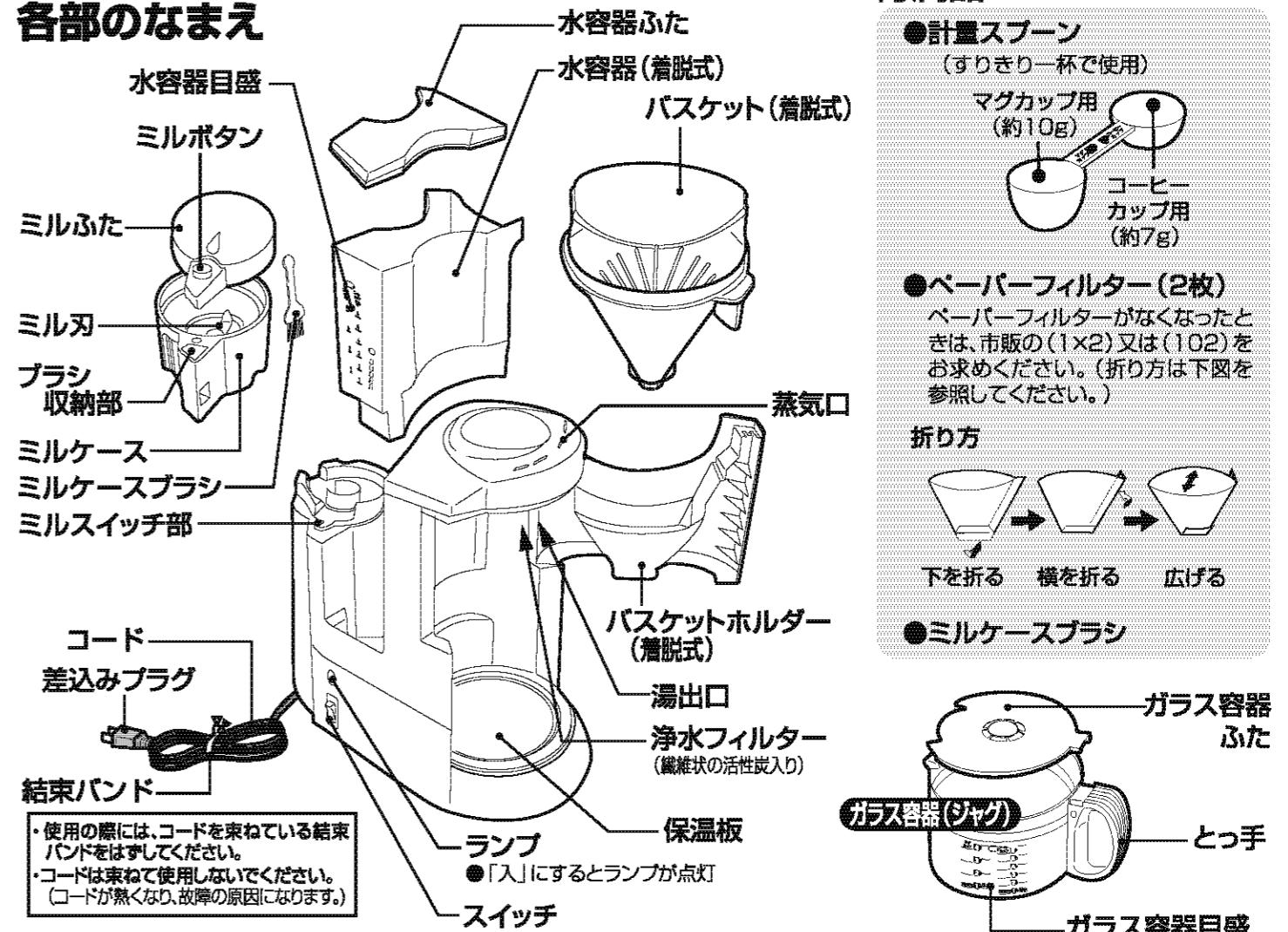
家庭用

コーヒーメーカー 珈琲通®

型名 EC-VJ60 取扱説明書

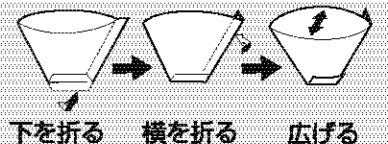
保証書つき

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

各部のなまえ

付属品

●計量スプーン
(すりきり一杯で使用)
マグカップ用(約10g)
コーヒーカップ用(約7g)

●ペーパーフィルター(2枚)
ペーパーフィルターがなくなったときは、市販の(1×2)又は(102)をお求めください。(折り方は下図を参照してください。)

折り方
下を折る → 横を折る → 広げる

●ミルケースブラシ

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	⚠注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

してはいけない「禁止」内容です。	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警　告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない

感電・けがの恐れがあります。

接触禁止

蒸気口にさわったり、手や顔を近づけない

やけどの恐れがあります。
特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの恐れがあります。

禁止

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止

ガラス容器なしで使わない

やけどの恐れがあります。

禁止

コードや差込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

必ず実施

差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふく

火災の原因になります。

必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する

そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。

<異常・故障例>

- ・コードや差込みプラグが異常に熱くなる
- ・コードに深い傷や変形がある
- ・焦げくさいにおいがする
- ・製品の一部に割れ・がたつき・ゆるみがある
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする
- ・スイッチを入れても動かない

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠注　意

接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部に手を触れない

やけど・けがの恐れがあります。

接触禁止

ミルケースに手を入れない

内部の刃でけがの恐れがあります。

禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない　火災の原因になります。

禁止

抽出中にガラス容器をはずさない

やけどの恐れがあります。

禁止

壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

禁止

ガラス容器を載せたまま本体を動かさない

やけど・けがの恐れがあります。

プラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施

お手入れは冷めてから行う

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

必ず実施

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■水容器に水以外のものを入れない

牛乳や酒・コーヒー・湯など水以外のものを水容器に入れると故障の原因になります。

■ガラス容器は、落としたり、固いものにぶつけたりしない

ガラスが割れてけがの恐れがあります。

■ガラス容器を直火にかけたり電子レンジで使用しない

割れたり、とっ手が変形したり金属部から火花が飛び散る原因になります。

■続けてコーヒーを作る場合はスイッチを「切」にして、約5分以上待つ

本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると湯出口から突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの恐れがあります。

■水にぬれた場所で使用しない

感電の原因になります。

■空だきはしない

保温時以外に水容器に水を入れずに通電すると故障の原因になります。

■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■ガラス容器が熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない

傷がつくと破損しやすくなります。
もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないよう十分ご注意ください。

仕様

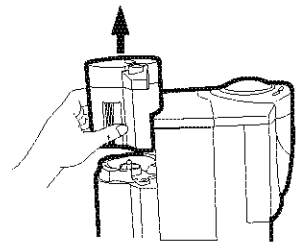
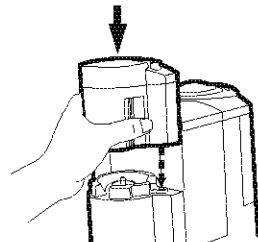
型名	EC-VJ60			
電源	ドリップ部	交流100V 50/60Hz	ミル部	交流100V 50/60Hz
消費電力		650W		100W
容量		最大水容量 810mL		コーヒー豆量 7～42g
ミル部定格時間	30秒			
方式	ドリップ式(保温式)			
コードの長さ	1.3m(ゴムコード)			
質量	約2.5kg			
外形寸法(約cm)	幅28×奥行16.5×高さ31			

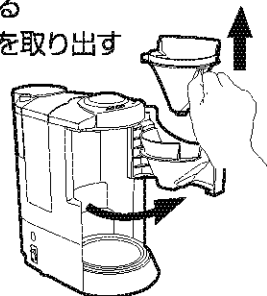
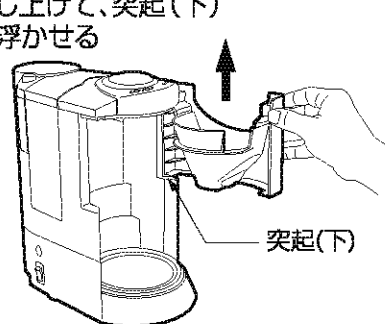
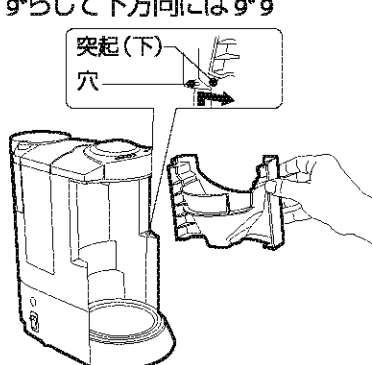
正しい使い方

この商品は、コーヒー豆を挽き、コーヒーを作るためのものです。
コーヒーを作ること以外に使用しないでください。牛乳や酒、コーヒー、湯など水以外のものを水容器に入れると故障の原因になります。
※この商品は家庭用です。業務用では使わないでください。

●初めてご使用になるときや長期間使用しなかったときは浄水フィルター・ガラス容器・バスケットなどを洗い、水だけで 1～2回ドリップしてください。
●使い初めのうちは、プラスチックのにおいがすることがありますが、次第ににおいは少なくなります。また初回は活性炭の黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害であり、使用上差しつかえありません。

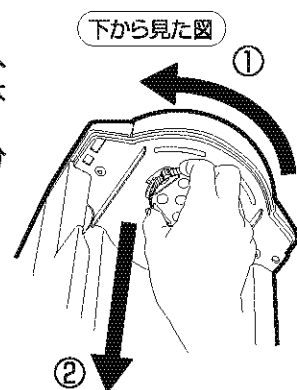
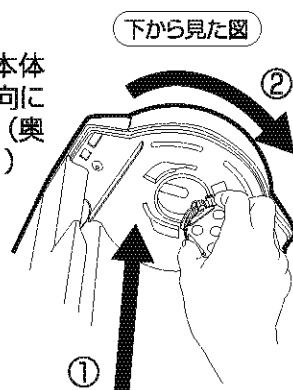
ミルケースのはずし方・取り付け方

●はずし方
ミルケースを持って、上に持ち上げます。

●取り付け方
本体のミルスイッチ部とミルケースのミルスイッチ部の位置を合わせて取り付けます。

バスケット・バスケットホルダーについて

●バスケットの取り出し方
①バスケットホルダーのとっ手を持って開ける
②バスケットを取り出す

●バスケットホルダーのはずし方(ガラス容器を取りはずしてから行ってください。)
①バスケットホルダーを押し上げて、突起(下)を浮かせる
②突起(下)を矢印の方向にずらして下方向にはずす

●バスケットホルダーの取り付け方
突起(上)を差し込んでから、突起(下)を本体の穴に合わせてはめ込みます。

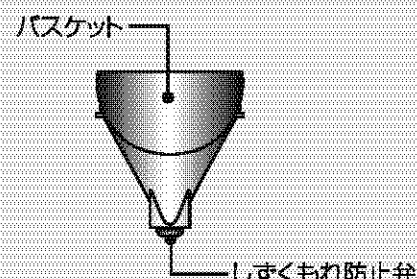
浄水フィルターについて

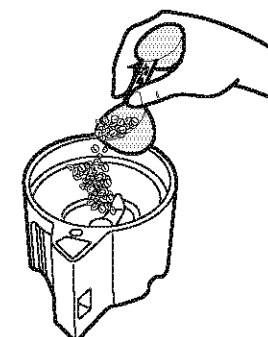
沸とうした湯を浄水フィルターに通し、カルキ臭を減らします。

●はずし方
浄水フィルターを矢印①の方向へ回してから、矢印②の方向(下)へはずします。
※湯を完全に取り除き、本体が十分に冷めてから行ってください。(やけどをする恐れがあります。)

●取り付け方
浄水フィルターのつめ部を本体の凹部に合わせて矢印①方向に入れ、矢印②方向に回します。(奥まで、しっかり固定させます。)

※水質などにより、浄水フィルターが変色(茶色)することがありますが、使用上差しつかえありません。

しずくもれ防止機能について

●ガラス容器ふたをしたガラス容器を本体から取りはずしても、コーヒーのしずくがバスケットからもれないようにするしくみです。

ミル

1 コーヒー豆を入れる

ミルケースにコーヒー豆を入れ、ミルふたをする

標準使用量

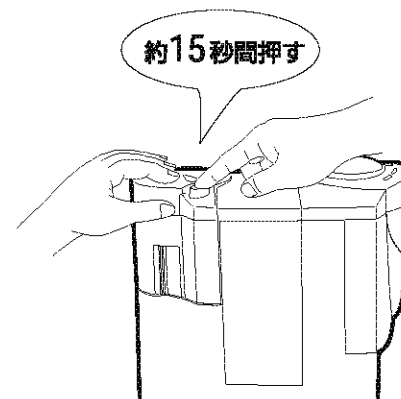
コーヒーカップ数	コーヒー豆量 計量スプーン(すりきり)
6カップ	6杯(約42g)
5カップ	5杯(約35g)
4カップ	4杯(約28g)
3カップ	3杯(約21g)
2カップ	2杯(約14g)
1カップ	1杯(約7g)

マグカップ数	コーヒー豆量 計量スプーン(すりきり)
4カップ	4杯(約40g)
3カップ	3杯(約30g)
2カップ	2杯(約20g)
1カップ	1杯(約10g)

●計量スプーンのすりきり6杯(コーヒーカップ)又は4杯(マグカップ)をこえる豆を入れないでください。
●ミルふたはしっかりしめてください。ミルふたがあいていると、豆が飛び散ります。

2 スイッチを「(切)(ミル入)」にして差込みプラグを差し込む

3 豆を挽く

ミルふたを片手で押さえ、ミルボタンをもう片方の手で押して豆を挽く

●「約15秒」は、中びきの目やすです。ミル時間は、豆の種類・量や好みにより加減してください。
●ミルボタンを押し終わってもしばらくの間は、中のミル刃が回っていますので**完全に止まってから、ミルふたをはずしてください。**
●25秒以上挽かないでください。微粉が多くなり、紙フィルターが目づまりしてコーヒーがあふれたり故障の原因になります。
●ミルを連続使用したりコーヒー豆以外の材料を挽いたりしないでください。(故障の原因になります。)
●ミルスイッチ部を細い棒などで絶対に押さないでください。
けがをする原因になります。

アイスコーヒーの作り方

準備
●アイスコーヒー用豆　●氷　●シロップ・生クリームなど

手順
1 ホットコーヒーと同じ手順で作ります。
●計量スプーンは"コーヒーカップ用"を使用する
●水量は水容器又はガラス容器の「ICE」の目盛に合わせる
2 グラスに約8分目の氷を入れてできたてのコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やします。

ご注意
アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2～6カップで作ってください。

熱いコーヒーをお好みの方に

●あらかじめコーヒーカップを熱湯などであたためておいてから注いでください。
●できあがったらガラス容器をそのまま保温板において、あたためてください。なお、長時間保温しますと、コーヒーの温度がしだいに上がって香りがぬけ、風味がなくなりますので、保温する時間は15分くらいまでとしてください。

連続してコーヒーを作るとき

スイッチを「(切)(ミル入)」にして、本体を5分以上冷ましてから「正しい使い方」の手順1より行う
●本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

正しい使い方つづき

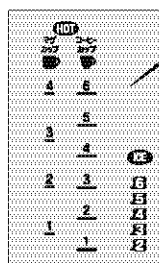
ドリップ

1 コーヒー粉を入れる

①バスケットホルダーを開きバスケットにペーパーフィルターをセットする
②本体からミルケースをはずし、ひいた粉をペーパーフィルターに移す
③バスケットホルダーを閉じる

●細びき粉は使わないでください。ペーパーフィルターが目づまりし、コーヒー粉があふれることがあります。
●ミルケースに残ったコーヒー粉は、ミルケースブラシでペーパーフィルターに移してください。

2 水を入れる

①水容器を本体からはずし、作るコーヒーの量に合わせて水容器の目盛の線まで水を入れる
②水容器にふたをし、本体にセットする

水容器目盛

●ガラス容器目盛は、水容器へ入れる水量とコーヒーのできあがる量の目やすを示しています。
●湯は入れないでください。水容器の変形や飛び散りの原因になります。

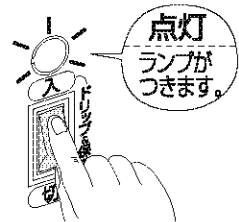
3 ガラス容器をセットする

ガラス容器ふたをして保温板にセットする

●ガラス容器は保温板にこすれないようにセットしてください。
●保温板が汚れたり、水分がついたりした状態で使用すると、保温板の塗装がはがれたり、変色する原因になります。

●ガラス容器ふたをしないと、しずくもれ防止弁が開かず、バスケットからコーヒーがあふれます。
●しずくもれ防止弁に無理な力を加えないよう静かに入れてください。

4 スイッチを入れる

差込みプラグをコンセントに差し込み、スイッチを「入」にする。

できあがり時間の目やす（水温・室温約20℃）

カップ数	1カップ	2カップ	3カップ	4カップ	5カップ	6カップ
コーヒーカップ	2.5分	4.5分	6分	7.5分	8.5分	10分
マグカップ	3.5分	6分	8分	10分	—	—

●できあがり時間は、水量・室温・電圧・豆の鮮度などで変わります。
●本体を水にぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。

5 スイッチを切り、コーヒーを注ぐ

①コーヒーができあがったら、スイッチを「切 ミル入」にする
②ガラス容器を取り出して、コーヒーカップに注ぐ

●ガラス容器は保温板にこすれないように取り出してください。
●本コーヒーメーカーは豆本来の味わいを引き出すため、抽出のときの湯温を高く設定しています。そのためコーヒー豆に含まれる油分がコーヒー表面に浮くことがありますが、コーヒーの味、その他に影響はありません。

保温を続けるときは…
①スイッチは「入」にしておきます。
②ガラス容器にガラス容器ふたをしたまま保温します。
●長時間保温しますと、香りがぬけ、風味が悪くなりますので、保温する時間は15分くらいまでとしてください。

6 使用後

必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜く

お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜いてあることを確認し、本体が冷めてからお手入れしてください。

部位	お手入れ方法
本体 保温板	①台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取る ②水で固く絞った柔らかい布でふく ③乾いた柔らかい布で水分をふき取る
水容器 水容器ふた バスケット バスケットホルダー ガラス容器 ガラス容器ふた ミルふた ミルケース	①台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗う（台所用以外の洗剤などは使わないでください。） ②水洗いしたあと、乾いた柔らかい布でふく ●本体コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。 ●ミルケース内のミル刃を変形させたり、ミル刃でけがをしないようご注意ください。
コード 差込みプラグ	乾いた柔らかい布でふく
浄水フィルター	水で流し洗いし、洗ったあとよく乾かす（洗剤は使わないでください。） ●目詰まりしている場合は交換してください。
ミルケースブラシ	①台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗う（台所用以外の洗剤などは使わないでください。） ②水洗いしたあと、よく乾かす

●食器洗い乾燥機や食器乾燥器は使用しないでください。（部品の変形の原因になります。）
●熱湯は使用しないでください。（変形や割れる原因になります。）

しずくもれ防止弁の洗い方

バスケットのしずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずコーヒーがもれることがあります。次の方法で毎回洗ってください。

●バスケットの中に水を入れ、しずくもれ防止弁を2～3回押し上げ汚れを洗い流します。

湯の出具合が悪くなったときは…

●湯アカが付着し、湯の出具合が悪くなることがあります。次の方法で取り除いてください。
※お手入れの前には、必ず浄水フィルターをはずす（3ページ参照）
浄水フィルターをつけたまま下記のお手入れをするとクエン酸のにおいがついたりコーヒーの味が変わる原因になります。
①ガラス容器にクエン酸小さじ1.5杯（約6g）を入れ、次にコーヒーカップの目盛「6」まで水を入れる。これをクエン酸が水に溶けるまでよくかきまぜ、水容器に入れかえる
②ガラス容器とガラス容器ふた・バスケット・バスケットホルダーを本体にセットし、ドリップする。クエン酸溶液が水容器目盛「1」まで減ったとき、スイッチを切る
③ドリップされたクエン酸溶液が冷めたら、中に混ざっている湯アカ（白い結晶など）を除いた溶液を再度水容器に入れ、②をくり返す
④保温板が十分冷めてから、ガラス容器と水容器内にあるクエン酸溶液を捨ててすすぎ、水で数回ドリップする

部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
●お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入は裏表紙参照）

	部品名	部品番号
部品	コーヒーメーカー用ガラス容器（ジャグ）	JAGECVE-○○
	コーヒーメーカー用計量スプーン	717250-01
別売品	コーヒーメーカー用浄水フィルター	EC-F01-JY
	ポット内容器洗浄用クエン酸「ピカポット」（30g×4包入り）	CD-KB03-J

○○表示は部品色柄記号です。
お求めの際は製品の色柄記号までご指定願います。
（側面シールに表示）
<表示例> 色柄：TD ハーブブラウン

浄水フィルターは水質や使い方により異なりますが約2年に1回が交換の目やすです。
（1日1回使用した場合）

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い
必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理を依頼されるとき
《保証期間中》
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
《保証期間を経過しているとき》
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC 100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.